

経済ポケット ジャーナル



★さんちかりボーン

神戸地下街株式会社(社長・宮崎辰雄市長)は、さんちかタウン20周年を機にリボーン(再誕生)計画を進めている。

森本泰好同専務は「さんちかのショッピングモールも20年、今や

成熟化社会となり感性の時代にいった。

店の配置換えや通路の整理など全面的に

改造したい」と語る。工事

着手は年末にかかる予定。またグラフィックデザイナーの小島良平氏による新ロゴタイプ「さんちか」のデザインも決定した。来春にはニュー「さんちか」が誕生する。

★須磨、西神ニュータウンCATV建設計画

地域コミュニケーション

の最新報システム、CATVの普及が注目を浴びているなか、須磨、西神ニュータウンに同システムが本格導入されることになった。施設管理主体は神戸市開発管理事業団で、当面神戸研究学園都市エリアに約5億円を投資することになる。

地域ニュースを始め、ショッピング案内広告、大学公開講座、娯楽、FM放送など多チャンネル、双方向で「地方の時代の情報」が

自主的に運営されていく。将来は両ニュータウンに総事業費55億円を投資してCATV網を拡げることが計画されている。



神戸研究学園都市

★ファッショントウン拡張

ジャヴァ・ワールドが相次いで竣工して話題を呼んでいるファッショントウンが1・3ヶ所拡張されることになった。

神戸市開発局の話では「同タウンの人氣が高く、需要にお応えできないくらいです。現予定地の隣接地



人気のファッショントウン

港島中学校の東側の用地を編集して拡張することにした」とうれしい悲鳴をあげた。進出を希望する会社に分譲するか、道路あるいは公園にするかなど慎重に検討された。

討する方針。

62年春には同全体の完成を目指している。

★神戸専門店東京会が

PRパンフレットを作成
東京に出店をもつ神戸専門店28社が集う「神戸専門店東京会」は、二カ月ごとにセミナーを開催するなど意欲的だが、この5月にPR用のパンフレットを作成、配布することになった。

内容は陳舜臣さんと鳳蘭さんの対談、仏総領事アンドレ・ブリュネ氏、米総領事夫人パトリシア・L・キリオンさんのインタビュー記事や各加盟店の紹介がB6判16ページに満載。また3月16日には日経の牧田正一流通経済部長を迎えて第10回のセミナーが開かれた。

★KOBEOフィスレディ★ 山下 千恵子さん(21)

△共同青船報△



高校を卒業して3年。営業部で働く。応待、接客はてきばきと「明るいけれど内弁慶でちょっとわがまま」だそう。ぱっちりした目が可愛い「私も目が好き」とチャームポイントを自覚。男性は明石家さんまさんのような明るくてスポーツマンタイプが好みとか。免許を入手すればドライブや旅行が楽しみに加わる。

●明日の神戸を創る企業群像

ゴルフを通して明るくい人間関係をつくる

三田国際ゴルフクラブ



片山 開・三田国際ゴルフクラブ理事長

—片山理事長のご趣味は、やはりゴルフですか(笑)
片山 そうなりますか(笑)。ゴルフとのつき合いは長いですよ。私は神戸の兵庫区の生まれで、予科練の生き残りなんです。初めてコースへ行ったのは、先代(創設者の片山金一氏)に連れられてですから、ずい分昔ですね。

—根っからのゴルフ人生ということでしょうか。

片山 そうですね。大阪工業大学の建築学部を卒業してから、父の仕事(御片山工務店経営)を手伝い、引き続いて関西ブルーザー工事㈱の社長として、京都の城陽カントリー倶楽部、能勢カントリー倶楽部や淡路カントリークラブの造成工事を手掛けたりしました。

—先代の片山金一理事長と共に三田国際ゴルフクラブを創設されたのですが、簡単に歩みをご紹介ください。

片山 先代理事長と私はゴルフ場の創設には並々ならぬ苦勞をいたしました。まず用地の購入を始めたのが、昭和三十八年十一月。当クラブは兵庫県三田市と美囊郡吉川町にまたがっているのですが、その当時は辺鄙な所なので、ブレイヤーが来てくれるだろうか(笑)と心配したものです。四十二年十一月に18ホールオープン記念披露パーティをやり、スタートをしました。四十五年三月に関西ゴルフ連盟に加入、四十七年に開場五周年記念競技会開催、五十二年に関西ゴルフ連盟役員・支配人及び報道関係者招待十周年記念式典並びに競技会開催、そして、おとしには十五周年記念招待競技と祝賀パーティを開かせていただきました。

—理事長は神戸青年会議所(JC)のご出身ですが、役員の方にもJCのOBの方が多いですね。

片山 そうです。キャプテンの樽本 久さん(樽本産業社長)、名譽書記の滝川博司さん(兵庫トヨタ自動車社長)をはじめ、約半数がJCのOBの方々です。

—メンバーもそうですね。

片山 当クラブの個人・法人会員は七五〇名で、婦人会員を入れると八一〇名ですが、JCのOBは五十名近くいらっしやいます。会員数が少ないことも特徴ですね。

—と言うことは入会の審査が厳しいということですか

片山 名義書きかえには四つの規定があるんです。まず、関西ゴルフ連盟加入のクラブに一つ以上入っていること。ハンディは52までのこと。理事一名を含む二名の推薦があること。そして四十歳以上であること。この四つ

です。おかげさまで今日まで実力・人格ともに優れた方々に会員になっていただいておりますので、今のレベルを維持して行くために会員数を限っているわけです。

——会員数の限定も特徴の一つとおっしゃいましたが、他にはどういう特色があるんですか。

片山 一つはコースがフラットであること。また、コースとコースとのジョイントが短かいことなどですね。用地は二十四万坪ですが、コースは二十万坪とちよっと手狭ですから、将来的に拡張も考えています。

——これまでも関西アマチュア選手権の予選競技など公式行事をやっていたらっしゃいますが、今年は何か予定がありますか。

片山 ええ。五月十五、十六両日に、乾 豊彦日本ゴルフ協会会長のご推薦によって、関西婦人選手権（関西レディース）を開かせていただきます。乾会長には、日頃から何かとご指導、ご鞭達をいただいております。今回の婦人選手権開催はクラブとして大変光栄だと思います。

——ところで理事長が日頃からモットーとされておられるのは、どういうことですか。

片山 何よりも、明るい人間関係を基礎に、と言うこと



(上) 渡辺節氏設計のクラブハウス
(下) 「三国まつり」のスナップ

です。社員にもそのことを徹底して教えています。われわれの仕事は、一種のサービス業ですから、フロントをはじめ全従業員にもメンバー、ビジターの別なく接するように指導しています。おかげさまで、キャディーの人氣も上乗なんですよ（笑）。人間関係ということでは、毎年、盆明けの次の月曜日に社員と役員とが一緒になって「三国まつり」をやっています。昼はゴルフを、夜はカラオケや盆踊り。キャブテンにタコ焼き屋をやって貰ったり（笑）。また、お客さまの身になってということで、月に一度は社員コンペ（SK会）をやったり、他クラブにご無理なお願いをし研修させております。

——先ほど敷地が二つの市町にまたがっているとおっしゃいましたが、地元とのおつき合いということにもいろいろ気を配っておられるのではないですか。

片山 ゴルフクラブというのは、やはり地元と密着した事業ですから、地元の方と、よい人間関係、いいつながりをもちたいと願っております。

過去には開場十周年記念として三田市と吉川町へ自動車を贈呈させていただいたりもしましたが、社員は地元の出身者が多く、地域の方とも明るい人間関係をつくりあげて行きたいと思っています。

——最後にゴルフをされる方へ一言。

片山 やはりマナーとエチケットにもっと気を配っていただきたいですね。ゴルフは、ジャッジがないということ、自分と自然との闘いということで、より自分に厳しくしないといけないスポーツです。ルールをよく知ることによって、もっともっと楽しさが加わり、深みの増す競技となると思います。

幸いにゴルフは現在、大衆化され、ゴルフ人口も増えて来ています。私どものクラブも、いい意味でホットなクラブでありつづけたいと、念願いたしております。

□三田国際ゴルフクラブ
兵庫県三田市大川瀬二六七 電話（〇七九五六）八一三七

文化の香り漂う 元町ルネッサンスを

第6回 座談会

元町キャンペーン

□出席者
朝比奈 千足

〈音楽家〉

吉田 薫

〈COM 設計事務所〉

竹山 清明

〈生活空間研究所長〉

横山 憲一

〈中学教師〉

大谷 靖幸

〈元町PR委員会〉

山根 良一

〈弁護士〉

島田 誠

〈海文堂代表取締役〉

渡辺 政雄

〈SPプロデューサー〉

★馬券売場問題を

一つの転機として考えよう

島田 本日は、場外馬券売場のビル建設問題と、それに関連して、元町の伝統を守りつつ、いかに活性化していったらいいか、というような問題を皆様方で話し合っていたいただき、町づくりの参考にしたと思います。渡辺 都市というのは、住宅街、

ショッピングゾーン、そして遊戯場などいろいろな要素が集まって構成されていますから、馬券売場があってもいいと思います。

しかし、それをどこへ建てるかという問題が起こってきます。

先に述べたような様々な要素がそれぞれのゾーンを守ってこそ、都市としての機能が発揮されるのです。したがって、元町というショッピングの場合、ギャンブルの施設を作るといのは、町並を破壊するだけでなく、神戸全体のイメージダウンになると思います。

吉田 私は大阪に住んでいるのですが、外から見た神戸は明るくて活き活きしてるなあと感じます。

馬券売場というところでも暗いイメージがあるので、神戸の持つ爽やかなイメージに合いません。竹山 それに、馬券売場を建てよ

うという元町駅周辺は、元町への玄関口にあたるので清潔にしておいてほしいです。神戸の歴史を感じさせるところでもあるのでぜひ今のままの姿を残してほしい。

大谷 これからは、歴史と現在がうまく調和した空間で生活することが重視されるでしょう。

朝比奈 私は具体的に元町を活性化させようという一つの契機として、馬券売場問題を考えたい。

大谷 元町にこれだけ関心が持たれたというだけでもありがたいですね。この機を生かさないと……。

島田 元町にとって、大きなチャンスですよ。一つの刺激、カンフル剤になったと思います。元町の抱えている様々な問題が浮かびそれを変えようとする元町ルネッサンスです。反面教師ですね(笑)。

渡辺 単に人が多いだけが商店街ではないはず。魅力のある商店街でなければいけない。

横山 私は東京で生まれたので特に強く感じのですが、三宮はミニ東京化してしまっていて面白さに欠けてきたんじゃないですか。島田 元町へ来るとホッとしますからね。

山根 元町は人が少ないので歩きやすいということは言えます(笑)。この状態で商売をやっていたらということなんですがね(笑)。

吉田 町づくりには、外科的に変



朝比奈 千足



吉田 薫



大谷 靖幸



島田 誠



渡辺 政雄



山根 良一



横山 憲一



竹山 清明

えていく方法と内科的に変えていく二つの方法がありますが、前者の方法でやれば、交通を整備し、高層ビルを建てていくので街は急速に発展していきます。しかし、その反面、あまりの急変のため、地元の人がその変化に対応できなくなり、街並と人との間に断絶が生じます。後者の場合、進歩の度合いは非常にゆっくりですが内側からじっくり、人と人の対話を通じて、文化的に街づくりを進めるので理想的な街並みができます。

渡辺 元町は、パリの町並みがそうであるように、高層ビルを建てるのに反対してるんですよ。

島田 内科的に変えていくという動きはありますね。

竹山 商店街というのは、商業活動と都市空間の二つのコンセプトを持っていると思います。前者は安心して物が買えるということ、高くてもそれなりにいい品物が手に入り、お客様を裏切らない。後者は、その商店街独自の文化を持って、そこへ来た人へ何か文化的なものを与えられる。そこへ行けば必ずなにかハブニングに遭遇できる、そういう商店街へ元町を作り変えていきたいと思う。

★文化的イベントを多くやるう

大谷 元町は都市空間としての文化的な側面に欠けていますから文

化的なものを増加させる具体的な方法として、緑を増やし、人が集まって、くつろげるスペースも欲しいですね。

朝比奈 空地の利用として、安易にビルを建ててしまうのではなく、一つのコーナーとして考え、パビリオンを建ててイベントを開くなど文化的活動をしていきたいね。

吉田 神戸の中の元町として、三宮と肩を並べて、文化的な面で競争していった方がいいですよ。

竹山 もっと強烈な個性、キャラクターを持ちたい。そうすることで、全国へ誇れる街並みを作ることができると思います。

横山 元町は、親子連れで歩いて少しオシャレして行きたくなるようなそんなセンス、魅力を持った所なので、この感覚をもっと強く打ち出し、親から子へ、代々受け継がれていく街にしていきたいです。伝統と現代がうまく調和した街づくりを、市民の方々と考えていきたいですね。

島田 元町の伝統はこれから大切に守っていききたいです。

朝比奈 元町の持つ伝統をうまく保ちながら、文化の香りのする、元町へいけば美意識や教養がつくと思われるような商店街へぜひ変えていってほしいですね。

(神戸風月堂にて)

話題のひろば

<1>

□「夢の菓子をたべて」

宝塚スター達が おせいさん 田辺聖子出版会 記念会



写真上左／春日野八千代、橋名由利ら大スター達に囲まれた田辺夫妻。お祝いの言葉は植田紳爾（右上）小林理事長（中上）野坂昭如（右中下）筒井康隆（左中下）スタッフを紹介する田辺、小山乃里子と本クニ子、佐藤理子、佐々木恵子さんら。（下左）峰さを理・大地真央・麻実れい・松あきらに囲まれたお聖さん。

宝塚って——何だろうか。
それは一期一会の夢。
手に握れば消えてしまう。
豪華な星屑のきらめき。

と、田辺聖子さんは、講談社から出版した、わが愛の宝塚「夢の菓子をたべて」に記している。宝塚を心から愛するお聖さんでないと書けないこの名著のために、ズカ生たちが二月十五日宝塚ホテルで出版記念パーティを開いた。

春日野八千代、橋名由利、松あきら、麻実れい、大地真央、峰さを理さんら若いファンたちが卒倒しそうな豪華メンバーのスター達に加えて、小林理事長、内海重典、植田紳爾、柴田侑宏、酒井澄夫、阿古健さんらそうそうたる演出陣、はたまた、新潟から駆けつけた野坂昭如、地元の鴨居羊子、阪田寛夫、筒井康隆、阿部牧郎、末次摂子、高橋孟さんら文化人も加わった。また装画の本くに子、カメラの佐々木恵子、編集の佐藤理さんら東京からの編集者たち。神戸の女性たちも加わって約百五十人の麗しい人間関係で「清く、正しく、美しい」パーティでしたと演出家の内海重典氏の言葉のように、カモカのおちゃんに支えられたお聖さんの人柄にふさわしい心暖まるひとときだった。宝塚七〇年の歴史にふさわしい決定版の一冊である。（定価2000円）

話題のひろば

〈Ⅱ〉

□日伯親善チャリティサンバパーティ

留学生と共に サンバ国際交流



左上はカモカ連団優勝／ブラジル領事と藤塚しつ氏。右上は中山会長の愛の衣類を。左下はサンバファイバー。右下はブラジル留学生たちに賞が…。

今年から始った神戸国際交流月間のプログラムに参加した、本誌主催の日伯親善チャリティサンバパーティ第一回の「カルナバル・ド・コウベ」が、三月三日（本場リオのカニバルの前夜祭にあたる）ニューポートホテルB I Fのホール「フラッシュ」で、神戸大学の外国人留学生ら二十人の他、京阪神から約二〇〇人が集って、強烈なサンバパーティをくり展げた。

チャリティには、市民から届いた愛の衣類が、県海外移住家族会（中山梅吉会長）へ贈られた。

パーティは、ブラジル領事館の文化担当藤塚シコさんと本誌小泉副編集長の司会で始まり、トキジフジツカ・ブラジル領事が「十九年前にこのホールで、その頃のカルドーナ領事と神戸っ子が初めてサンバパーティを開いて以来で、それから神戸カーニバル神戸まつりと約二〇〇〇人のサンバ人口となったことはほんとに嬉しい」と。留学生達の紹介と、ユニバーシアードのTシャツが渡され、長島隆さんの乾杯の音頭で「スコール」コパカーナサンババンドの強烈な演奏。そして第二回のサンバコンテストに個人の部、団体の部と五〇人が参加した。

★月刊神戸っ子サンバチーム団員募集ノバ
ーカッショングダンシングチームの教室へ。

電話 078 (331) 2246 迄

話題のひろば

<Ⅲ>

□金子真珠店 春のコレクション

宝石の島・スリランカへの誘い



右上／会場にてチャームingな女性ダンサーたち 下／壇野良二常務(左)と甲斐弓子アドバイザー
左上／力強く激しい踊り 下／花束を贈られるダンサー

「今日と明日の出逢う時―KANEKO宝石ギャラリー'84」というテーマで、春のパール&ジュエリーコレクションが、3月6、7日の両日、神戸ポートピアホテル(和楽の間)で開催された。

今回のコレクションは、過去2回行われ、大変好評だった金子真珠店主催の「スリランカ宝石フェア」がさらにフレッシュアップしたもの。

淡水真珠、南洋真珠をはじめ、宝石の島スリランカから直輸入されたルビー、サファイア、キャッツアイ、今注目を浴びているパパラチアなどが展示され、鮮やかな光を放っていた。

「若い方がパールをつけると、とてもチャームingですし、30代、40代の方がつけられると、とてもエレガントです。パールは、本当に年齢に関係なく使えるものなんです」と、壇野良二常務。

また、今回の特別企画として、日本初来日のスリランカ屈指のキヤンディアンダンサー達による民族舞踊ショーも開かれた。2千年もの昔から、自然の中に神を見つけ、神の助けを借りて生きてきたスリランカの人々のロマンを伝える魅力的で、力強い数々のダンス。ビートのきいたリズムとファンタジックなメロディがお客様をイメージと瞑想の世界へと誘った。

NEW HEART OF KANSAI THE ALL KANSAI

感動と共に
呼ぶ熱い雑誌

月刊 オール関西 創刊号

好評発売中

海外作家インタビュー

ベルナル・ビュツフェの世界

誌上シンポジウム ザ・カンサイ

山崎正和・原清・佐治敬三

山水雑談 陳舜臣

特別寄稿

海の城 黒岩重吾

特集 変貌する大阪ミナミ

川勝 傳、石濱恒夫、安藤忠雄、竹本津大夫他



聖子歴史絵巻①
古典を彩るおんなたち

田辺聖子
絵／岡田繁夫

交 飲 湯浅淑子、塚本幸一、
人 榊田喜四夫、小谷隆一、
友 大島 靖、朝比奈隆、
嘉納正治、高嶋平介、
大塚和三郎

ビッグインタビュー
朝比奈 隆
インタビュー／小石忠男



関西の大型プロジェクト21 大阪ビジネスパーク

関西新情報化時代 INS(高度情報通信システム)時代を考える 千本倅生

美女登場 山本容子 スターライト 浪速のロッキーマスター 赤井秀和

オール関西ギャラリー 小磯良平、西山英雄、元永定正

風景常新 京都御所 関西のすまい 聴竹居 春を告げる野鳥

上方味覚紀行 楠本憲吉 連載随想「くるつとまわってニヤン」の目 鴨居幸子

続・沙羅利満氏の経済教室 建元正弘 経済人対談 山田稔・鈴木謙一

頑張れシリーズ 阪神タイガース 漫画 小島功 FASHION 小泉十三 その他話題満載



¥580 (年間購読¥8,500)

■オール関西株式会社/〒553 大阪市福島区福島3丁目1-59イカリビル3階 ☎06-453-4301

FASHION●REPORT

■ルイ・ヴィトン 神戸店を訪ねて

パリのエスプリが
伝統の街元町に

奏 郷次郎さん(ルイ・ヴィトンジャパン(株)社長)



ルイ・ヴィトンの魅力を語る奏郷次郎さん

1854年の創業以来、常に旅行鞆の基準であり続けてきたフランスのルイ・ヴィトン。その商品は、女性のみならず男性にも好まれている。今回は、多くのファンをもつルイ・ヴィトンの商品の魅力について、昨年9月、元町にオープンしたルイ・ヴィトン神戸直営店で、奏郷次郎ルイ・ヴィトンジャパン(株)社長にインタビュー。

——秦さんとルイ・ヴィトンとの出会いは？

秦 今の仕事の前は、ニューヨークで経営コンサルティングの会社に勤めていたんです。約10年程前に、日本政府の諮問機関から依頼されて、バーコードの調査にパリへ出張したんですね。その時にパリ支店の友人を訪ねた

ら、彼がコンサルティングしている会社で「ルイ・ヴィトン」という会社があるんだけど、最近、日本人がやたらに買いにきている。しかし、何故そんなに買いに来るのかもわからない。東京には1店舗しかなくて、会社の方でもどうしていいのかわからない、と言っているの。一度話に来てみないかと言われて、当時の社長で現在会長であるアンリ・ルイ・ヴィトンに会いに行っただす。そのことがルイ・ヴィトンとの出会いなんです。

——別の会社におられたのに、どうしてまた社長に？

秦 社長に会いに行った時に、日本では、偽せ物が多く、並行輸入でヤミ値がついていたりするので、一度調査をしてはどうか、と話して帰国したんです。帰国して2カ月後ぐらいに、パリで話した仕事をすぐ始めてほしいというテレックスが届きましたね。早速、価格等について、東京、横浜、大阪、神戸と調査を始めたんですが、それから深入りしてしまっ……(笑)。その後、'78年に、日本に6店舗オープンさせるにあたって、日本の支店長になる人を探してほしい、と頼まれて探していたんですが、パリでいい人が見つかったので、会いに来てくれ、というところで行ったんですよ。ところが、とても日本に来て支店長をできるような人ではなかったんです。しかしね、記者会見やオープニングパーティーの日取りまで決まっているし、当日責任者なしではできない、というの

でとりあえず、私が支店長代行を務めて、無事、78年、3月9日に、東京・大阪に3店舗ずつできたんです。

——おもしろいご縁ですね。

秦 そうですね。不思議なもので、スタートから、殆んど全ての重要な意思決定に参画し、日本での店舗展開については、現場のことにまで携わっておりまして、の、だんだん愛着ができて、全くの他人には任せたくなくなってしまうたんです。それで、2年前に経営コンサルティングの会社を辞めて、支店から日本の会社にして、代表取締役を引き受けました。

——ブランド志向の時代は終わった、と言われますが、



神戸店に来られたアンリ・ルイ・ヴィトン夫妻



ルイ・ヴィトン神戸店



杉崎神戸店々長(左端)とスタッフ

——ヨーロッパに行きました時、大きな行李のようなトランクを見て驚いたんですが、ソフトなバッグよりハードなトランク類を持っている方が多いようですが。

秦 確かに日本ではヨーロッパとは逆で、ソフトからハードへと買い足される方が多いですね。日本人のファッション感覚は凄いと思うのですが、旅する時のトランクに関しては、まだまだヨーロッパには負けていますね。ヨーロッパでは、親子2代、3代とゆずっていくんです。ヴィトンの古いトランクを持って旅をするのは、古い家だという証拠にもなるし、誇りなんです。

——120年間、守り続けた誇りと伝統をもつルイ・ヴィト

まだまだルイ・ヴィトンのファンは多いですね。

秦 2年前にいろいろ調査をしてわかったことなんです、2つの層に分かれますね。まず一つは、若い方に多いのですが、ヴィトンのバッグを1つは持っていたい、とおっしゃる方々。もう一つは、みんなが持っているからイヤなだけで、使い易いし、どんな服装にもあうので、ヴィトンを使いだすと他のを使うチャンスがないとおっしゃるような本当のファンの方ですね。やはり、ルイ・ヴィトンの魅力は、創業以来、全くデザインは変わらないけれど、実用的で、どんな服装にもピッタリくる、というところでしょう。

ンの店は、やはり伝統のある元町に似合いますね。

秦 小学校へ入学するまでは、ずっと神戸にいたので、神戸にはなつかしい思い出がたくさんあるんですよ。食べるものもおいしいし。例えば、青辰の穴子寿司とか藤はらの天ぷらとかね(笑)。だから、神戸には、どうしても店を出したかったです。初めての自社ビルでもあるのでじっくりと腰をすえて、元町の中で、みなさんに愛され可愛いがっていたような店にしたいと思っています。おりますので、ぜひともよろしくお願いいたします。

■ルイ・ヴィトン神戸直営店

中央区元町通3丁目 電話078-3391-3261

'84 SERIZAWA SPRING COLLECTION

翼になりますか。帆になりますか。



女が着るから、輝くマリン。



serizawa

KOBE

■本店 神戸市中央区三宮町3-1-8 TEL. 078-331-1695 ■さんプラザ店 ■センター街店 ■さんちか店 ■メンズセリザワ KOBE・OSAKA・TOKYO・KYOTO・HIMEJI

男の旅・女の旅

Voyage de homme

Voyage de femme

グレイの雰囲気が好きなの。

鳳 蘭

〈ミュージシャン〉

ツレちゃんの髭といえは、
（ああ、レッド・バトラー…）
と、切なく懐しい。

宝塚歌劇が久々に「風と共に去りぬ」を再演し、三月十三日前夜祭に出演のため八日に帰神した。新神戸駅でファンからの春の花を抱いた彼女の瞳は美しい。塩屋に住む両親のもとへ。この日はママの誕生日。一路、車で須磨の海を眺めながら、旅の話は巴里へと飛んで行く。

「十年くらい前だけど、初めての巴里公演で一カ月。最高やったわ。『パレ・ド・コングレ』で、十二月十五日からお正月の半月、ミュージカルは「日本もの」と「ショー」構成でね。

言葉は通じなくても、芸に対しての拍手があるの。前列に、十人ぐらいのバリジエンヌが毎日毎日通って観てくれて「ブラボー！ブラボー！」でしよう。嬉しかったわ。それ以来、二度ほど日本にやってきてタカラヅカを観にきたのよ。人との新しい出会いって、やはり旅の楽しさよね。

一番困ったのはお食事。何しろ私は、納豆に、お漬物、梅干に塩こんぶがないとダメな人なの（笑）それで、巴里でもホテルで、パンにタラコをまぶして食べていたんだから（笑）初風淳さんと二人で、シャンゼリゼを歩いてレストランへ入ったらメニューが読めないでしよう。隣の人の食べている美

味しうなのを見ては「あれ下さい。あれを」なんてね（笑）

一カ月バンターホテル住いだっだから、巴里のすてきな名所は、だいたい行きましたね。大晦日の夜に、シャンゼリゼをバスで通って、十二時になるとカーンカーンと鐘が鳴り始めるの。

左や右にいた車から皆が降りて来て、抱きあってキスをするのよね。皆が「バスから降りてこい降りてこい！」と叫んでるんだけど、マネージャーがドアにへばりついてバスから私たちに「降りたらダメッ！」って（笑）でも、ほんとに忘れられない風景だったわ。それからお正月の公演が始まっ



51年1月パリ公演（パレ・ド・コングレ）にて



53年7月スペインにて

て「ボン・ナネ」「ボン・リントン！」元旦から三日ほどずーっといつてたの（笑）フランス人が三日日を、「あけましておめでとう！」をいっているのかどうか（笑）

ショッピングも、サンジェルマンや、フォーブル・サントノールやブランド製品のお店は殆んど廻って、「ルイ・ヴィトン」も行きましたよ。私の旅行鞆と、お友達へのおみやげを買って。巴里の専門店に「気に入ったら買って行きなさい。欲しくなかったら買わなくていいよ」っていう態度。あの誇り高さは日本では少ないわね。「買いなさい。買いなさい」って感じだから日本は。

お洋服でも染が違うのよ。巴里で買った色は、どこで買っても、トーンが合うから不思議ですね。

五月は、日生劇場で西城秀樹さんと「デュエット」。八月は梅田コマで細川俊之さんと「ミス」の舞台。六月には、ワシントンへ行きまして、で、ニューヨークで主人と待ち合せて「ブロードウェイ」で、時間の許す限りロングランと新作を二、三本観ようと約束しているの。

将来、子供たちと一緒に老後は巴里で暮らしたいわ。あの街のグレイの雰囲気が好き。人間関係のわずらわしさがなし、永住したいと思っているぐらい好きなのよ。」舞台に、家庭に充実しているツレちゃん笑顔はさわやかだ。



いいものだけを世界から



MORABITO



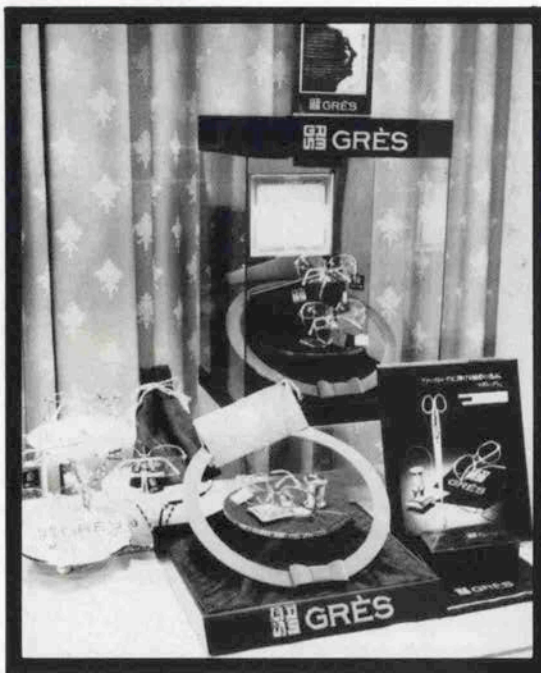
1 PLACE VENDÔME, PARIS

モラビトお求めは、次のお店でどうぞ。▶北海道＝アナベル(今井札幌店内)/ブティック・リー(今井旭川店内)/ヤナセ札幌支店 ▶ 鶴岡＝マダム・デジール ▶ 盛岡＝モード・イトウ ▶ 東京＝高島屋東京店/玉川高島屋/GINZAメルサ/ブティック・ヤナセ帝国店/ニューオータニ・ブライレ東京 ▶ 横浜＝横浜高島屋/ブティック・ヤナセ関内店 ▶ 静岡＝新静岡センター・#171/トレヴィアン ▶ 北陸＝サンシティ(富山) ▶ 名古屋＝名鉄百貨店セブン館/モラビト・ハリ名古屋店/つぎ(半田) ▶ 京都＝高島屋京都店 ▶ 大阪＝高島屋大阪店/高島屋堺店/大丸大阪店/阪神百貨店/ブティック・クロ/ブティック・ヤナセロイヤルホテル店 ▶ 神戸＝ヤナセ神戸支店 ▶ 中国＝天満屋岡山店(岡山)/天満屋広島店(広島) ▶ 九州＝井筒屋本店/久留米岩田屋(久留米)/きもの処吉本(宮崎)/せびや(長崎)/プラザ太田(別府)/レディ・ノバード(大牟田)/ファッションギャラリーアリシマ(名瀬)/ヤナセブティック・サンローゼ博多店 ▶ ヤナセ・ギンザSQ「モラビト・ド・パリ」TEL(03)573-3111

good new days
人間らしい美しい未来を

ヤナセ

総輸入元 株式会社ヤナセ
ファッション商品部



親しい友達の ような信頼関係

バレンタイン・F・モロゾフ

〈南コスモポリタン製菓代表取締役〉

服部メガネさんとは父の代からのお付き合いですが、いつ訪れても変わらないお店の雰囲気が好きですね。お店の方も話題が豊富でメガネのことよりおしゃべりに夢中になってしまうことも。技術はもちろん、友達のような信頼関係が嬉しいですね。



GRÈS

les must de *Cartier*
Paris

服部メガネ

神戸・大丸前 ☎(078)331-1123



NEUE
MODE
MARCHEN

つれづれなるままに $\frac{1}{366}$ 日の気まぐれ日記



気分はパステルカラー

えと文 篠原順子 (スチリスト)

春の始め。

化粧品会社の広告も、いっせいにピンク、ピンクとう
たっている。

気温と共にうれしくなる1日、1日。

桜待ち気分。

道に咲いた小さな花、ねむりから醒めた球根の花を見
つけた時の春の発見は、ほのぼの、うれしい。

気分もパステルカラー。



用も無いのに何となく街を歩いてみたい気分。
花屋さんに寄って桜草を買おう。
やはりパステルカラーのレーシーなストッキングに口
ーヒールで軽やかにー。
ちよっと遠いけれど今日は歩こう。
風がこちよい。

ファッションルポ



株式会社

シャルレ

レポート 嘉納純子

〈ライター〉

ボディ美人を めざす人の〈シャルレ〉

現代のファッションは、「着る美学」から「脱々美学」へと変わりつつあります。

つまり、服を着ている時に美しいことよりも、服を脱いだ時に美しいことこそ、本当の美しさだということです。

アダムとイブの昔から、そもそも人間にとつてはNUDEがナチュラルな姿。洋服で着飾った表面上の美より隠された美の方が今は問われる時代になったといえるでしょう。

洋服の下に隠された、しなやかで健康美あ



ふれるボディ、それを優しく包みこむファッションとランジェリー。そこにこそ、現代の美があるように感じます。

今回は〈シャルレ〉を訪ねてみました。

★ホームパーティーで見つける、
お気に入りのファンデーション

〈シャルレ〉はファンデーションとランジェリーのブランド。ユニークなのは、訪問販売専門で、店頭にはいっさい商品を置いていないところだ。

〈シャルレ〉では、ホームパーティー形式で仲良しの女性たちが集まって、おしゃべりしながら試着をして、お気に入りのファンデーションが選べる仕組みになっています。

デパートなどの試着コーナーと違って、な

にせお友達の家のだから、自分の好きなファンデーションに遠慮なく何度でもトライできる。これは嬉しいアイデアですよ。

「デザインが好きで買ったのに体に合わず、タンスの中に眠ったままのファンデーションってあると思うんです。このパーティーは、とにかく試着していただくことが目的で、それでお気に召したものがあればご予約くださいという形なんです」と、シャルレ代理店の莊司さん。

この日もワイン色のスーツケースの中に、きれいなレース使いのファンデーションがぎっしり、色とりどり。



女性らしい暮らしの生まれるホームパーティ

★ジャストフィットの理由は、素材とパターン

さて気になる素材とフィット感ですが、「シャルレのファンデーションは、コットン素材が中心なので、肌ざわりも通気性もよく、敏感な女性のボディをやさしく包んでくれるような感じがします。それに、人間工学に基づいた立体裁断ですから、いち部分だけ締めつけることがなくピタッと体にフィットしますよ。ファンデーションはおさえつけられ、いつでもいい感じですよ」

試着が終わった後は、にぎやかに女性同志



笑顔の素敵な莊司洋子さん(左)と筆者

のおしゃべり。コーヒーや紅茶に持ち寄りのクッキーを囲んで、映画の話、ファッションの話。1時間半がアツという間。時には、こんなホームパーティーも楽しいですよ。

あなたも、シャルレのホームパーティーを開いてみませんか。

●問い合わせ先 神戸本社・お客様相談室

☎078-3302-7181

株式会社シャルレ

本社 神戸市中央区港島中町7丁目7番1

☎078-3302-7171